

特定非営利活動法人

キャンヘルプタイランド会報

2019年度(法人5期)

ネットワーク通信 Vol.88 合併号

Newsletter Vol.5

会員の皆さん、ドナーの皆さん

2019 年度はキャンヘルプタイランドの活動に温かいご支援を賜り、ありがとうございました。おかげ様をもちまして、すべてのプログラムを無事に終えることができました。

1990 年に、小学校を出てすぐにバンコクに出稼ぎに行く子供たちに何とか中等教育の機会を与えたいと始めた私の活動も、多くの方のご支援ご協力のもと早いもので 30 年になりました。

この 30 年でタイの教育関係は大きく改善しました。まだまだ格差がないとは言えませんが、少なくとも中学校へ行けない子供たちは激減したと言えるでしょう。また、青空教室を解消するための教室建設プログラムも今や少子化が進みつつあるタイではその必要性が薄らぎつつあります。デコボコの未舗装道路がアスファルトになり、無線しかなかった農村の人たちが携帯電話を持つようになり、社会インフラも 30 年前とは比べ物にならないほど改善しました。

キャンヘルプタイランドもそうした社会情勢に合わせて、活動内容やその方法を少しずつ変えてきました。これからも意味のある支援をするために絶えず見直しが必要だと考えます。以前は各県の教育局と関係を築き教育局を通じた支援を主に行ってきましたが、近年ではタイ北部の山岳少数民族への支援等、公的支援の行き届かない子供たちへの支援も独自に行って来ました。さらに、タイの隣国カンボジアの学校に対してもトイレや井戸の整備に協力するといった形で支援を行っています。一方で小学生への奨学金給付は一定の役割を終えたと判断し、今年度より各県の教育局を通じた新規募集は行わないこととしました。

ミャンマーやカンボジアとの国境付近、北部山岳地帯、また周辺国には、公的支援が行き届かず十分な教育が受けられない子供たちがまだ多くいると言われていています。そうした状況を調査し、皆さまからの支援が有効に使われるよう今後とも努力してまいりたいと思います。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

もくじ

1、活動一覧	2 ページ
2、建設プログラム	3 ページ
3、奨学金プログラム	4 ページ
4、すみれ基金	5 ページ
5、山岳少数民族支援	6 ページ
6、ランチプログラム	6 ページ
7、図書支援	6 ページ
8、国内活動	6 ページ
9、会計報告	7 ページ
10、理事運営委員紹介	8 ページ
11、ご寄付のお願い	8 ページ
12、会員募集と継続のお願い	8 ページ

キャンヘルプタイランド

会長 西川 弘達



タイとミャンマーの国境地帯

1、活動カレンダー（法人第5期） 2019年2月1日～2020年1月31日

日付	内 容	場 所	プログラム
2月18日(金)	東海地域 NGO 助成 一次審査結果発表 不採択	NGO センター	カンボジア
2月15日(金)	NPO イーパーツ 印刷機寄贈プログラム (1台)	事務局	運 営
2月21日(木)	名古屋千種ロータリークラブ 打ち合わせ	千種 RC	カンボジア
2月23日(土)	運営委員会	事務局	運 営
2月24日(日)	カンボジア タイ 視察 (3月8日まで)	カンボジア・タイ	奨学金
3月22日(金)	名古屋千種ロータリークラブ 打ち合わせ	千種 RC	カンボジア
3月26日(火)	名古屋千種ロータリークラブ 打ち合わせ	千種 RC	カンボジア
3月31日(日)	2018年度 総会	事務局	運 営
4月8日(月)	NPO イーパーツ PC 寄贈プログラム (PC2台)	事務局	運 営
4月20日(土)	名古屋千種 RC 井戸支援完成式ツアー (22日まで)	カンボジア	建 設
4月27日(土)	連合メーデー (久屋大通公園) 出展 理事会	久屋公園	運 営
5月9日(木)	愛知大学ボランティアツアー説明会	愛知大学	タイ山岳
5月9,16,23日	NPO イーパーツ Teams オンライン勉強会参加	坂自宅	運 営
5月19日(日)	名古屋 NGO センター総会 ウォーカソン 2019	NGO センター	運 営
5月25日(土)	運営委員会	事務局	運 営
5月30日(木)	ぼらマッチ 打ち合わせ 愛知学院大学	愛知学院大学	運 営
6月7日(金)	「NGO・市民社会組織のための危機管理・安全管理研修」1泊	東 京	運 営
6月15日(土)	ぼらマッチ 愛知学院大学	愛知学院大学	運 営
6月22日(土)	運営委員会	事務局	運 営
7月6日(土)	奨学金授与式ツアー カンボジア タイ (14日まで)	カンボジア・タイ	奨学金
7月27日(土)	運営委員会	事務局	運 営
8月5日(月) ～12日(月)	愛知大学ボランティアツアー 引率 (第1グループ) ピサヌローク チェンマイ バンコク	タ イ	タイ山岳
8月6日(火)	篠岡中学校生徒会文房具寄付「カサロンの家」へ	タ イ	タイ山岳
8月18日(日)	名古屋千種 RC カンボジアトイレ支援建設資金授与	カンボジア	建 設
8月20日(火) ～27日(火)	愛知大学ボランティアツアー 引率 (第2グループ) ピサヌローク チェンマイ バンコク	タ イ	タイ山岳
8月23日(金)	日本万国博覧会記念基金 助成事業応募説明会		運 営
9月1日(日)	NPO イーパーツ プリンター寄贈プログラム FAX	事務局	運 営
9月11日(水)	認定 NPO 法人申請 事務所調査	事務局	認定 NPO
9月29日(日)	運営委員会 第1回翻訳会	事務局	奨学金
10月12日(土)	名古屋女子大学附属中学校 学生訪問 (台風中止)	事務局	運 営
10月13日(日)	ワールドコラボフェス 2019 (台風中止)	オアシス 21	運 営
10月27日(日)	運営委員会 第2回翻訳会	事務局	奨学金
11月9日(土)	人間環境大学 学生事務所訪問	事務局	運 営
11月23日(土)	名古屋千種ロータリークラブ トイレ支援完成式	カンボジア	建 設
11月30日(土)	運営委員会	事務局	運 営
12月初旬	NT 通信第 87 号発送	事務局	運 営
12月6日(金)	名古屋 NGO センター忘年会	NGO センター	運 営
12月7日(土)	トヨタ車体ふれあいクラブ様より古着寄付	事務局	タイ山岳
12月14日(土)	運営委員会 奨学金プログラムアサイン作業	事務局	奨学金
12月21日(土)	国際協力カレッジ出展 JICA 中部	JICA 中部	運 営
1月25日(土)	運営委員会	事務局	運 営

活動予定 (2020 年度)

日付	内 容	場 所	プログラム
2月1日(土)	ボランティア入門講座	名古屋北社協	運 営
2月17日(土)	カンボジア、タイ 視察 (3月8日帰国)	カンボジア、タイ	運 営
3月8日(日)	運営委員会・理事会	事務所	運 営
4月12日(日)	総会	事務所	運 営
4月～5月	連合メーデー	久屋公園	運 営
6月～7月	奨学金授与式 (1週間から10日程度)	タイ・カンボジア	奨学金
8月	愛知大学ボランティアツアー (2回)	タイ	山岳
9月～11月	翻訳会 (3回～4回程度)	事務所	奨学金
10月～11月	ワールドコラボ	栄オアシス	運 営

※運営委員会は毎月第4土曜に開催予定

2、建設プログラム

2019年度の建設プログラムは、名古屋千種ロータリークラブ様からのご支援で、カンボジアで3件建設支援を行いました。2019年4月と11月に下記の3つの小学校で名古屋千種ロータリークラブ会員の皆さんと完成式を行いました。

●オコキ小学校井戸支援（4月） 1,600ドル

2018年度にトイレ建設支援を行ったオコキ小学校にて、2019年4月に名古屋千種ロータリークラブ様の支援として、井戸を建設しました。この井戸により、児童だけでなく学校周辺に住む村人も乾季の水不足解消に欢喜しています。学校にはまだ電気が通っていないので、今は手押しポンプの井戸ですが、将来的には電動ポンプの導入を目指します。



●プノムルサイ小学校トイレ&井戸支援（11月）

総額 3,000ドル

2019年11月に名古屋千種ロータリークラブ様支援として、プノムルサイ小学校に2部屋トイレと井戸を建設しました。プノムルサイ小学校は幹線道路から地道を8キロほど入ったところにある、生徒数60名ほどの小さな分校です。トタン板の屋根と壁だけの仮設校舎で、トイレが未整備でしたので、今回の支援となりました。学校の井戸は、近隣住民にも自由に使えるようにされており、2月の視察では、朝に子どもを学校へ送るついでに、ポリタンクに水を汲んで持ち帰る親の姿が多くみられました。



●アンコールバーン小学校トイレ支援（11月）

3,000ドル

2019年11月に名古屋千種ロータリークラブ様支援として、アンコールバーン小学校に4部屋トイレを建設しました。ロータリークラブの皆様が視察されるときには、まだトイレが完成していませんでしたが、2020年の2月の視察では、完成後のトイレを確認しました。



3、奨学金プログラム

2019年度は新規15名を含め87名の子供たちを支援いたしました。昨年度からの繰越金4万円と今年度12月3日現在皆様からご寄付頂いた金額70万円と、不足した13万円は「指定なし寄付金」を充当させていただきました。なおその後にご寄付を頂きました7万円を次年度に繰越させていただきました。

授与式を実施しない県への継続奨学生に対しては、送金で2人（昨年比-10名）への支援を実施しました。



・奨学生の内訳

7月に*印の5県は伊藤、坂と松本が参加し授与式を実施しました。

今年度支援を実施した県		
県名	支援人数	増減数
ムクダハーン県*	20名	0
カラシン県*	19名	+1
ロイエット県*	18名	+1
マハサラカーム県*	16名	-1
ナコンパノム県*	12名	-1
ヤソトーン県	2名	0
合計	87名	

昨年度で支援を終了した県		
県名	支援人数	減数
サッカーオ県	0名	-2
プリラム県	0名	-3
スリン県	0名	-1
シーサケット県	0名	-2
サコンナコン県	0名	-2
カサロンの家	0名	-20

・申請書類、手紙の翻訳

昨年に続き愛知県に在住のタイ人10名以上と日本人の協力で9月から事務所にて翻訳会を実施し、翻訳した申請書類や手紙は12月にドナーの皆様にお送りいたしました。

・クリスマス&年賀カードの送付

今年も12月中旬に奨学生87名全員にカードを送りました。

・ドナーの皆様にお送りする書類と手紙は「使途が見える支援」を実現する事を目的としていますが、一方の奨学金の側からすると「キャンの誰が支援してくれたか」が分かっていけませんので、「顔が見える支援」を実現するためにもドナーの皆様に限らずどなたでも奨学生宛に絵葉書や手紙を書いていただく事が「この人が支援してくれた」と実感できるようになると思いますので、皆様からのお便りをお待ちしています。（事務局へお送り頂きますればタイ語に翻訳して奨学生に送ります）



カンボジア奨学金プログラム

本年度よりカンボジア奨学金プログラムがスタートしました。まずは小学校 1 年生の児童 10 名へ 1 人年間 80 ドルの支援を行う事とし、6 月下旬にカンボジア王国サンパオルン郡の教育委員会事務所で奨学金授与式を行い、4 名の児童の家庭訪問も行いました。次年度は、今年の 1 年生の継続と新 1 年生の新規で合計 20 名の児童への奨学金支援を行う予定です。



4、すみれ基金（大学生奨学金）

2011 年に発足した「すみれ基金大学生奨学金」も 10 年目を迎えました。新規募集奨学生は 2016 年度に終えて、昨年からは継続奨学生を卒業まで支援しています。計算上すみれ基金奨学金は 10 年で残金 0 円の予定でしたが、退学などの理由から支援を途中で打ち切った学生がいたため、少し残金が発生しました。そこで、2019 年度に新たに 2 名の山岳少数民族出身の学生を追加いたしました。

- オラタイさん…チェンライのメーファールアン大学看護科 4 年間支援
- ラッチャニさん…チェンマイ大学歯科助手コース 1 年間支援

この 2 名の、他に継続奨学生が 1 名いますので、2020 年度は合計 3 名の支援となります。

- セーンスック君…チェンライのメーファールアン大学経営学部 2020 年 8 月卒業

上記の 3 名とも、タイ北部チェンマイにある山岳少数民族の子ども達のためのユースチャリティーファンデーション (YCF) の学生です。ラッチャニさんとセーンスック君は共に「カサロンの家」の出身です。

5、山岳部少数民族支援プログラム

昨年8月に実施した愛知大学主催の「タイボランティアツアー」が大変好評だったため、2019年度は8月に2グループのツアーを開催しました。愛知大学の学生59名（30名×2グループ、1名キャンセル）が「カサロンの家」へ滞在し、寮の子ども達と遊んだり、子ども達の学校を訪問したりして交流しました。

また、大学生のツアー参加費の中から「カサロンの家」滞在費として合計20万バーツ（約70万円）を現地へ寄付しました。

2019年2月には、2018年度の愛知大学のツアーに参加できなかった学生10名（5グループ）ほどが、個別に「カサロンの家」を訪問しました。

愛知県小牧市にある篠岡中学校の生徒会から約20キロ分の文房具の寄付をいただきましたので、「カサロンの家」へ送らせていただきました。

また、昨年12月にトヨタ車体ふれあいクラブ様より古着のご寄付をいただきましたので、タイへ渡航するたびに10キロから20キロほどの古着を現地へ寄付しています。合計300キロほどありますので、数年に分けて支援していきます。

6、ランチプログラム

2019年度のランチプログラムは、山岳少数民族の子ども達のための学生寮「カサロンの家」への米購入金支援（4万バーツ）に決定しました。しかし、支援日が、2020年2月になったので、2020年度（次年度）支援となります。

「カサロンの家」では、自分たちで米も栽培していますが、姉妹寮の「希望の家」と合わせると1日10キロの米が必要となり、自給自足には程遠い状況です。子ども達のためには、年間3トン以上の米を必要としますが、4万バーツ（約15万円）の支援で約2.5トンの米を購入することができ、寮での年間の米消費量の半分以上を賄うことができます。

2017年に「カサロンの家」へ支援を実施した、「牛小屋と牛2頭」の経過報告です。2019年末に子牛2頭が誕生し、現在は、キャンヘルプタイランド支援の牛4頭と「カサロンの家」が自前で購入した牛2頭の計6頭が飼育されています。



7、図書支援プログラム

昨年度から再開した射水市主催の「おおしま手作り絵本コンクール」に今年も応募しました。本年度は入賞することができ、記念品と賞状を頂きました。2020年度の奨学金授与式の時に、現地で表彰式を行いたいと思います。



8、国内活動

活動カレンダーをご覧ください。

9、2019 年度会計報告（参考資料）

NPO 会計様式の活動計算書と事業別支出明細は総会の議案書に記載されていますので、
 ご覧になりたい方はホームページでご確認ください。

貸借対照表

2020 年 1 月 31 日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	15,194,412	負債の部合計	0
タイ普通口座	6,681,272	資本の部	
郵便振替口座	1,945,614	【剰余金(欠損金)】	15,194,412
UFJ 法人	6,567,526	当期未処分利益(損失)	15,194,412
		(うち当期利益(損失))	△866,476
		資本の部合計	15,194,412
資産の部合計	15,194,412	負債・資本合計	15,194,412

注) 消費税の経理処理方式 税込処理
 2020 年1月31日現在パーツ→円への交換レート…1パーツ=3.48 円

損益計算書

自 2019 年 2 月 1 日 至 2020 年 1 月 31 日 (単位円)

経常損益の部		
【営業損益の部】		
【営業収益】		
【売上高】		
会費	90,000	
奨学金 寄付金	770,000	
図書 寄付金	7,000	
給食 寄付金	125,000	
建設 寄付金	45,000	
山岳 寄付金	40,000	
運営 寄付金	32,000	
その他 寄付金	290,345	
カンボジア寄付	873,780	
事業収入	960,000	
売上高合計		3,233,125
【営業費用】		
【売上原価】		
タイ奨学金支援	1,380,357	
タイ山岳支援	740,000	
カンボジア支援	764,588	
カンボジア経費	33,303	
タイ事業費支出	220,000	
タイ経費奨学金	183,399	
日本経費奨学金	156,450	
日本 図書支援	2,002	
日本経費 カンボジア	99,390	
合計	3,579,489	
売上原価		3,579,489
売上総利益(損失)		△ 346,364
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		270,365
営業利益(損失)		△ 616,729
【営業外損益の部】		
【営業外収益】		
受取利息	26,294	
為替 差益	172,792	
営業外収益合計		199,086
【営業外費用】		
利子への税金	3,591	
為替 差損	445,242	
営業外費用合計		448,833
経常利益(損失)		△866,476
税引前当期利益(損失)		△866,476
当期利益(損失)		△866,476
前期繰越損益		16,060,888
当期未処分利益(損失)		15,194,412

販売費及び一般管理費内訳書

自 2019 年 2 月 1 日 至 2020 年 1 月 31 日

(単位:円)

広告宣伝費	10,780
通信費	30,605
消耗品費	1,540
事務用消耗品費	1,140
水道光熱費	18,990
諸会費	10,000
支払手数料	10,666
地代家賃	143,440
租税公課	200
雑費	678
郵送費	16,866
業務委託料	0
印刷費	25,460
販売費及び一般管理費合計	270,365

利益処分案

(単位:円)

当期未処分利益	15,194,412
次期繰越利益	15,194,412

10、2020年度の運営委員と理事の紹介

特定非営利活動法人キャンヘルプタイランドとして以下のような体制で運営いたします。

引き続き運営委員の募集を行っていますので、興味のある方は是非ご参加ください。

運営委員	西川 弘達（代表理事長）	大矢 治夫（代表副理事）	大矢 まゆ美（理事）
	坂 茂樹（理事）	松本 康裕（理事）	内田 由布子
	新實 佳奈	寺島 優美	

11、ご寄付のお願い

各プログラムへのご寄付を広く募集します。ご協力くださる方は、同封の振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙を使用いただき、必要事項及びご寄付を希望のプログラム名（寄付金の使途）を記入してお振込み下さい。銀行振込の場合で寄付金の使途を指定される場合は、別途、葉書かお電話、Eメール等でご連絡をお願いします。尚、寄付金の使途をご指定にならない場合は、こちらで振り分けさせていただきますのであらかじめご了承ください。

奨学金プログラム	1口	10,000円
ランチプログラム	1口	5,000円
建設プログラム	1口	5,000円
図書支援プログラム	1口	1,000円
山岳民族支援プログラム	1口	10,000円
カンボジア支援プログラム	1口	5,000円
運営基金	1口	1,000円
会費※	1年	3,000円

※ 会員制度とは…

会員になっていただいた方には、年2回「ネットワーク通信」をお送りし、キャンヘルプタイランドの活動やイベント情報、タイにまつわるいろいろな情報をお伝えしていきます。年1回、会費3,000円をお振込みください。

寄付金・会費のお振込みは…

<郵便振替口座>

口座名：NPO キャンヘルプタイランド 番号：00280-2-43793

12、会員募集と継続のお願い

キャンヘルプタイランドでは、会の運営を円滑にするために運営費を支えていただける「会員」を募集しています。多くのNPOが寄付金の15～30%もの運営経費で運営されているのに対して、私たちは、わずか5%の経費しか計上していません。従って15年前から会員の皆さんの会費（年額3,000円）で運営費の不足分を補っているのが現実です。会員の皆さんには年2回の「ネットワーク通信」で活動の詳細をお伝えすると共に、各種行事のご案内もいたします。皆様のご協力をお待ちしております。

お問い合わせ先

住所：〒450-0003

名古屋市中村区名駅南2-11-43

日商ビル2階NPOステーション内

キャンヘルプタイランド事務局

TEL&FAX：052-566-5131

（事務所開設時間不定期 事前来所予約必要）

Eメール：office@canhelp.jp

特定非営利活動法人

キャンヘルプタイランド会報

Vol.5

ネットワーク通信 Vol.88 合併号

発行：キャンヘルプタイランド

発行人：西川 弘達

編集人：坂 茂樹

発行日：2020年3月